

グローバルAIファンド

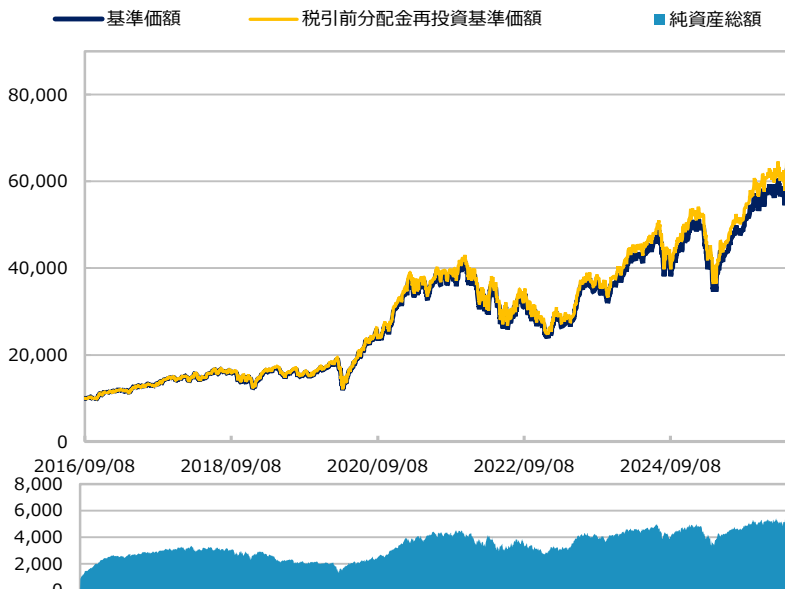
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

ファンド設定日：2016年09月09日

日経新聞掲載名：グローバルAI

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

| | 当月末 | 前月比 |
|------------|---------|---------|
| 基準価額（円） | 65,775 | +11,289 |
| 純資産総額（百万円） | 575,773 | +94,516 |

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

| | 基準日 | ファンド |
|------|------------|-------|
| 1 か月 | 2026/03/31 | 20.7 |
| 3 か月 | 2026/01/30 | 13.8 |
| 6 か月 | 2025/10/31 | 15.8 |
| 1 年 | 2025/04/30 | 71.1 |
| 3 年 | 2023/04/28 | 148.8 |
| 設定来 | 2016/09/09 | 599.0 |

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

| 期 | 決算日 | 分配金 |
|-------|------------|-------|
| 第5期 | 2021/09/27 | 350 |
| 第6期 | 2022/09/26 | 0 |
| 第7期 | 2023/09/25 | 300 |
| 第8期 | 2024/09/25 | 350 |
| 第9期 | 2025/09/25 | 500 |
| 設定来累計 | | 1,950 |

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----------|-------|------|
| 組入マザーファンド | 99.5 | +0.3 |
| 現金等 | 0.5 | -0.3 |
| 合計 | 100.0 | 0.0 |

※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

| | 計 | インカム | キャピタル |
|-----|---------|------|---------|
| 株式等 | +11,112 | +28 | +11,083 |
| 先物等 | 0 | 0 | 0 |
| 為替 | +275 | - | - |
| 分配金 | 0 | - | - |
| その他 | -98 | - | - |
| 合計 | +11,289 | +28 | +11,083 |

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

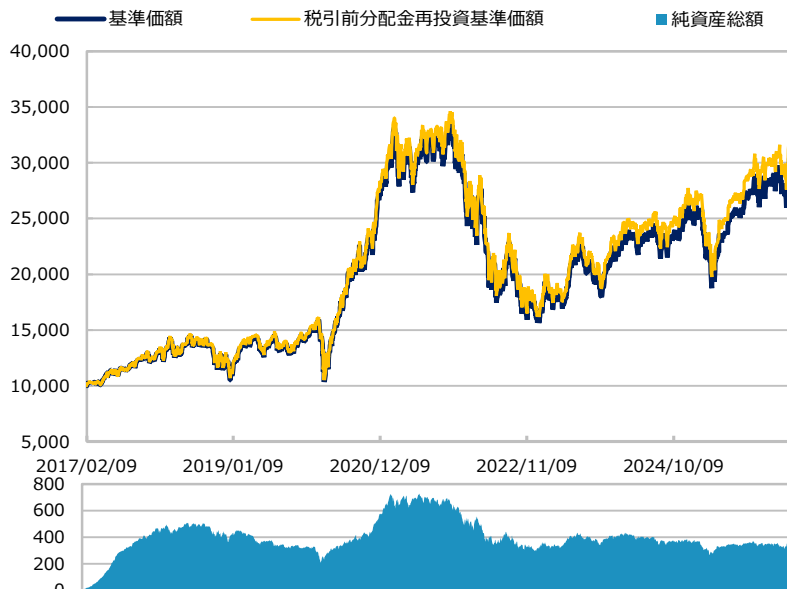
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

ファンド設定日：2017年02月10日

日経新聞掲載名：グローバルAI有

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

| | 当月末 | 前月比 |
|------------|--------|--------|
| 基準価額（円） | 31,248 | +5,282 |
| 純資産総額（百万円） | 36,316 | +5,470 |

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

| | 基準日 | ファンド |
|------|------------|-------|
| 1 カ月 | 2026/03/31 | 20.3 |
| 3 カ月 | 2026/01/30 | 8.4 |
| 6 カ月 | 2025/10/31 | 9.4 |
| 1 年 | 2025/04/30 | 47.3 |
| 3 年 | 2023/04/28 | 85.3 |
| 設定来 | 2017/02/10 | 231.9 |

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

| 期 | 決算日 | 分配金 |
|-------|------------|-------|
| 第5期 | 2021/09/27 | 300 |
| 第6期 | 2022/09/26 | 0 |
| 第7期 | 2023/09/25 | 150 |
| 第8期 | 2024/09/25 | 200 |
| 第9期 | 2025/09/25 | 250 |
| 設定来累計 | | 1,300 |

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----------|-------|------|
| 組入マザーファンド | 100.1 | -1.1 |
| 現金等 | -0.1 | +1.1 |
| 合計 | 100.0 | 0.0 |

為替ヘッジ比率 102.2 -1.0

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」です。
- ※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

基準価額の変動要因（円）

| | 計 | インカム | キャピタル |
|-----|--------|------|--------|
| 株式等 | +5,386 | +14 | +5,373 |
| 先物等 | 0 | 0 | 0 |
| 為替 | -57 | - | - |
| 分配金 | 0 | - | - |
| その他 | -47 | - | - |
| 合計 | +5,282 | +14 | +5,373 |

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

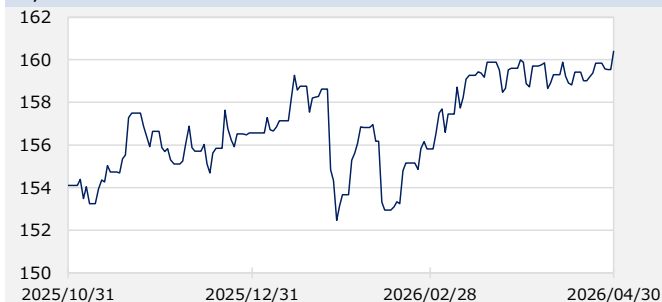
市場動向

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（アメリカドル建て）



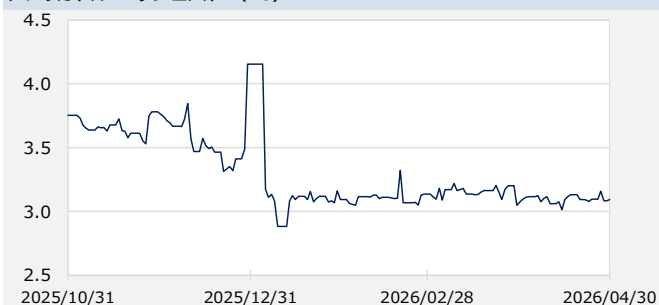
当月騰落率：10.2%

円/アメリカドル（円）



当月末：160.4 前月末：159.9 騰落率：0.3%

アメリカドル ヘッジコスト（%）



当月末：3.10% 前月末：3.08% 変化幅：0.02%

- ※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
- ※ 為替レートは一般社団法人資産運用業協会が発表する仲値（TTM）です。
- ※ ヘッジコストは該通貨の対円のスポットレートと1か月物フォワードレートを用いて算出し年率換算した値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」の情報を記載しています。

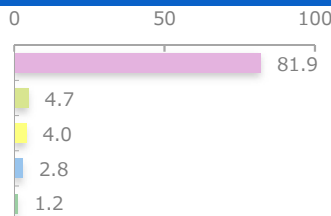
規模別構成比率 (%)

| | 当月末 | 前月比 |
|------|------|------|
| 大型株式 | 77.3 | -0.8 |
| 中型株式 | 18.4 | +3.5 |
| 小型株式 | 0.7 | -0.2 |
| その他 | 0.0 | -0.0 |

※ MSCI AC World のLarge Cap、Mid Cap、Small Cap インデックスに基づく分類です。
 ※ その他はいずれのインデックスにも含まれない銘柄です。

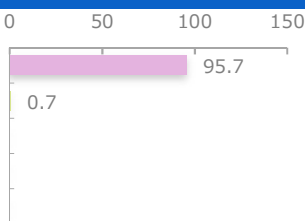
組入上位5カ国・地域 (%)

| | 当月末 | 前月比 |
|----------|------|------|
| 1 アメリカ | 81.9 | +1.0 |
| 2 台湾 | 4.7 | +0.2 |
| 3 オランダ | 4.0 | +0.2 |
| 4 カナダ | 2.8 | +0.5 |
| 5 フィンランド | 1.2 | +1.2 |



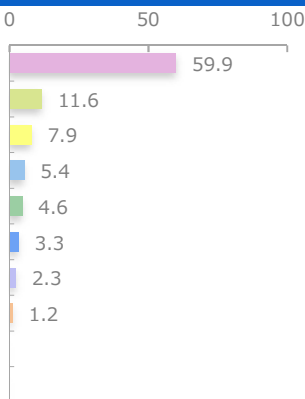
組入上位5通貨 (%)

| | 当月末 | 前月比 |
|----------|------|------|
| 1 アメリカドル | 95.7 | +2.7 |
| 2 香港ドル | 0.7 | -0.1 |
| | | |
| | | |
| | | |



組入上位10業種 (%)

| | 当月末 | 前月比 |
|------------------|------|------|
| 1 情報技術 | 59.9 | +8.1 |
| 2 資本財・サービス | 11.6 | +0.8 |
| 3 ヘルスケア | 7.9 | -1.3 |
| 4 一般消費財・サービス | 5.4 | -0.6 |
| 5 金融 | 4.6 | -0.7 |
| 6 コミュニケーション・サービス | 3.3 | -1.8 |
| 7 エネルギー | 2.3 | -0.2 |
| 8 生活必需品 | 1.2 | -1.2 |
| | | |
| | | |



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄（%）

（組入銘柄数 51）

| 銘柄 | 国・地域/業種 | 比率 | コメント |
|----|--|-----|--|
| 1 | エヌビディア アメリカ 情報技術 | 7.7 | GPU（画像処理装置）世界最大手で設計・開発・販売を手掛ける。ジェンソン・ファンCEOは米国電気電子学会（IEEE）の栄誉賞を受賞し、AIはあらゆる職務を変革する一方、新たな雇用を創出しているとその可能性について語った。 |
| 2 | ブロードコム アメリカ 情報技術 | 6.5 | ネットワーク用半導体製品を提供する大手企業。2029年まで次世代AI半導体の開発で協力することを含む、業界初となる2ナノメートルのAIアクセラレータを開発するため、メタ・プラットフォームズとの提携を拡大したと発表。 |
| 3 | TSMC 台湾 情報技術 | 4.7 | 半導体の設計を自前で行わず、受託製造に特化する「ファウンドリ」と呼ばれる業態のパイオニアであり、世界トップシェアを誇る。同社は売上高と純利益が市場予想を上回る四半期決算を発表し、2026年通期の売上高見通しも引き上げた。 |
| 4 | キャプチャー アメリカ 資本財・サービス | 4.4 | 重機メーカー。建設、鉱業、農業、林業向け機械の設計・製造・販売や同機械用エンジンおよび部品も製造。データセンター用の発電機や電力機器の需要から前年同期を上回る四半期売上高と純利益を発表し、通期業績見通しも上方修正した。 |
| 5 | ラムリサーチ アメリカ 情報技術 | 3.7 | 半導体ウエハー関連の製造装置やサービスを提供。AIによって押し上げられた半導体装置およびメモリ需要に支えられ、市場予想を上回る四半期決算を発表。また、AI主導の力強い需要が継続するとの考えから業績見通しも引き上げられた。 |
| 6 | フレックス アメリカ 情報技術 | 3.4 | 電子機器の設計・製造・サプライチェーンソリューションを提供し、データセンターや通信、医療機器など幅広い分野でグローバルに事業を展開。同社はデータセンター向け製品の生産能力を拡大するため、新たに10億米ドル投資すると発表。 |
| 7 | シエナ アメリカ 情報技術 | 3.2 | 通信網事業者などに向けて、各種機器・ソフトウェアやサービスを提供。同社はインターネットや通信関連の企業・技術者・政策関係者などが集まる世界最大級の展示会「ABRINT2026」でAI対応の次世代ネットワーク技術を発表。 |
| 8 | コヒレント アメリカ 情報技術 | 2.9 | フォトニクス技術のグローバル・リーダーであり、各種産業に光電子デバイス等を提供。同社は、高電圧のAIデータセンターおよび産業用電力用途向けの炭化ケイ素（SiC）厚膜エピタキシャル技術の性能を向上させたと発表。 |
| 9 | セレスティカ カナダ 情報技術 | 2.8 | 航空宇宙・防衛、通信、ヘルステック等の幅広い分野に電子機器製造受託サービスを提供。同社は、超高速通信を可能とするAIデータセンター向けネットワークスイッチ「DS6000シリーズ1.6TbE」の提供を開始したと発表。 |
| 10 | JPMorgan Chase & Company アメリカ 金融 | 2.7 | 世界有数の金融サービス会社。商業銀行業務、投資銀行業務、証券サービス、プライベートバンキング業務等、国際的金融サービスを展開。同社は、良好な四半期決算を発表し、CEOは今後もAI主導の設備投資に注目していることを言及。 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

中東における緊張緩和への期待から4月の世界株式市場は3月の下落から急回復しました。しかし、交渉は継続中であり解決までの道筋は依然として不透明です。世界の半導体関連銘柄が牽引し米国やアジア市場が堅調に推移するなど、株式市場は地域を問わず概ね好調となりました。AIおよびテクノロジー関連株は、AIに関する見通しが再び楽観的になったことやAIエコシステム全体で企業決算が堅調となったことを受けてアウトパフォームしました。MSCI全世界株指数のセクター別では、情報技術とコミュニケーション・サービスがアウトパフォームしました。一方、ヘルスケアとエネルギーがマイナス・リターンとなりました。

マクロ経済面では引き続き底堅さが見られました。米国では、非農業部門雇用者数は3月には市場予想を上回る17.8万人増となり、3月の失業率は2月の4.4%から4.3%へと低下しました。3月のISM（全米供給管理協会）製造業景況感指数は3カ月連続で景気拡大を示す50を上回りました。3月のCPI（消費者物価指数）は市場予想通りエネルギー価格の上昇を背景に前月比で2月の0.3%から0.9%上昇となった一方、変動の大きい食品とエネルギーを除くコアCPIは前月比0.2%の上昇にとどまり、市場予想の0.3%を下回りました。FOMC（米連邦公開市場委員会）は、政策金利を3.50-3.75%の目標レンジで据え置きましたが、4名の反対票があり、金融政策見通しが不透明であることが示されました。

＜運用経過＞

4月のマザーファンドの基準価額は上昇しました。

4月、需要環境の改善から通信インフラ企業のノキアや、コスト削減や新たな収益機会獲得を図っている医療保険や医療サービスを手掛けるユナイテッド・ヘルス・グループを新規購入しました。一方、短期的に利益率の圧迫が懸念される外科手術用機器・システム等を提供するインテュイティブ・サージカル、一部の送電計画に遅れがみられるクリーン・エネルギー企業のコンステレーション・エナジー、決算内容が市場予想を下回った米大手金融機関のウェルズ・ファーゴ等を全売却しました。

（寄与度上位銘柄）

幅広い先進的な半導体、法人向けソフトウェア、セキュリティ・ソリューションを設計・開発・提供するブロードコムが4月の寄与度上位銘柄となりました。アルファベットやメタ・プラットフォームズといった大手クラウド事業者とカスタム・シリコンを開発・製造する内容を含む長期契約を拡大したことなどから株価は上昇しました。今後、同社はAI関連のクラウド・コンピューティングおよびネットワーキング・プログラム、ソフト

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

ウェア・インフラ、ワイヤレス半導体事業の回復によって売上と利益が大きく成長すると期待しています。AIデータセンターや大手クラウド事業者向けに、サーバー、ストレージ（補助記憶装置）システム等の重要なハードウェアインフラの先進的な電子機器製造サービスを提供するセレスティカも4月の寄与度上位銘柄となりました。AIネットワーキングなどの力強い需要から、堅調な四半期決算と通期見通しの引き上げを受けて、株価は上昇しました。同社は大手クラウド事業者によるAIインフラ構築の恩恵を引き続き享受していると考えています。同社の高度なネットワーク機器、サーバーラック、ストレージソリューション等に対する需要は、今後数年にわたるこの投資サイクルから恩恵を受けると期待しています。

（寄与度下位銘柄）

世界有数のバイオ医薬品企業であり、ヒト用医薬品および動物向けヘルスソリューションを提供するメルクが4月の寄与度下位銘柄となりました。同社は堅調な企業業績を発表したものの、主力製品の競争激化の懸念が高まったことなどから株価は下落しました。同社は、新薬の開発成功率の低い分野のプロセスにAIを積極的に活用しています。厳格な規律を守りつつも医療現場に導入するまで通常10年以上要する開発期間の短縮を目指していることなどを評価しています。

＜市場見通し及び今後の運用方針＞

足もとでは市場のボラティリティ（変動性）が高まっているものの、株式市場に対して中長期的には引き続きポジティブにみています。米イラン間の継続的な交渉は、一定の緊張緩和につながっていますが、見通しは依然として不透明です。一方、足もとの市場は地政学的な不透明感がある程度織り込み、第1四半期決算が健全であったことから再び企業のファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）要因が注目されました。引き続き、イノベーションから恩恵を受ける企業や複雑な環境を乗り越えられる企業で構成されたバランスの取れたポートフォリオを維持していきます。また、ボラティリティの上昇は新たな銘柄や確信度の高い銘柄を追加する機会をもたらすと考えており、パフォーマンス向上のため、随時ポートフォリオを見直していく方針です。中期的に、より多くのセクターで経済や利益成長の環境が改善しており、株式市場の幅広い銘柄にプラスの効果をもたらすと考えられます。多くの主要中央銀行は、経済成長を支えるため、利下げを実施あるいは今後の利下げを示唆しています。米国では、トランプ政権の企業優遇政策と減税、規制緩和、米国内投資、製造業の米国回帰を通じて追い風となっています。これらの取り組みにより、経済のより幅広い分野において、イラン情勢が緩和されるにつれ、消費者と企業の双方の成長が促されると見込まれます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

AIバブルの可能性はメディアや多くの市場参加者に注目されています。しかし、足もとの株価バリュエーション（投資価値評価）や資本集約度は、ITバブル期と比べて大幅に低い水準にあります。また、AI向けの設備投資サイクルは、世界最大級で収益性の高い企業によって資金提供されています。一方、一部のデータセンター建設計画や未公開企業に対する投機的な動きも見られるため、数年後に調整局面を迎える可能性はあるとみています。テクノロジーセクターは引き続き堅調に推移すると見込まれる一方、他のセクターの幅広い企業も利益成長の改善が見込まれると考えています。一部の超大型銘柄への集中相場から、より健全でバランスの取れた市場環境となる可能性が高まっています。そのため、AIがもたらすディスラプション（創造的破壊）の恩恵を受ける幅広い技術や産業にも注目しています。特に金融、ヘルスケア、一般消費財・サービス、資本財・サービスなどのセクターでAIの恩恵が見られ始めています。より多くの企業やセクターで利益成長が再加速するにつれ、あらゆるセクターのAI関連企業に注目することで魅力的な収益機会が獲得できると期待しています。

イノベーションの観点から見ると、力強いインフラ構築を受けて、それを基盤としたAI開発が加速しています。足もとではAIの試験導入から本格的な運用段階へ移行し始めています。また、AIによって強化された高度な機能を有する製品・サービスが、産業全体の生産性、コストカット、収益機会をさらに引き上げるでしょう。AI投資がもたらす変革によって、企業の利益率は拡大すると考えられ、投資を進めている革新的企業の評価を支えているとみています。

AIインフラストラクチャー：世界のAIデータセンターの拡大は、多くの投資家が認識している以上に力強く進んでおり、資本支出に対する懸念は、「不安の壁」を乗り越える過程で今後も続く可能性が高いでしょう。現在のAI産業革命の実現に対する障壁はあるものの、それがむしろ魅力的な収益機会をもたらすとみています。これには高速計算用の半導体、半導体製造装置、電力供給と効率化などの分野が対象となります。

AI開発企業：今後数年のうちに、AIアプリケーションやソフトウェアは、便利なツールから私たちに代わって行動する「パートナー」へと進化していくでしょう。「静的なアプリ」は、状況に応じて行動し、あらゆる状況に適応できる「協働型自律エージェント」へと移行しつつあります。このインテリジェントなアプリケーションはさらなる自動化を促すことで大幅な効率向上をもたらす、新たな収益化の機会をもたらすとみています。2025年のソフトウェア支出動向はまちまちでしたが、2026年は状況が安定し、改善に向かうと考えています。

AI活用企業：私たちは産業全体で本格的なAI導入の初期段階にいます。AIを早期に導入してきた革新的な企業

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

は、試験導入から本格的な導入へと移行しており、同業他社と比べて財務面や競争面で効果が表れ始めています。金融サービス、ヘルスケア、資本財、消費関連の分野でAIを先導的に取り入れている企業は、AIによって財務成果が改善し始めるという初期の恩恵を受けつつあると私たちは考えています。こうした状況は市場から過小評価されており、魅力的な収益機会として見ています。

AIによる革命は始まったばかりであり、その進展は世界経済を大きく変革させると考えています。近年、AIの進歩はその潜在力を示しましたが、今後10年で更なるイノベーションによって汎用人工知能（AGI）の実現が近づき、変革の力は勢いを増すでしょう。AIはあらゆる業界で競争環境等を急速に変えています。今後10年、AIによる変革に関連した企業はより多くの収益機会をもたらすとみています。AIを本格的に受け入れることで生産性の大幅な向上、コスト削減、新たな製品・サービスの開発を行ったものが各産業の革新者になるでしょう。特に、ディスラプションが多く見られる環境下においては、徹底した銘柄選択が重要だと考えています。引き続き、AIによって長期的に株主価値を成長させることができる革新的企業の発掘に注力していく方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにいうことがあります。

グローバルAIファンド : (為替ヘッジなし)
グローバルAIファンド（為替ヘッジあり） : (為替ヘッジあり)

1. グローバルAIエクイティ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界的上場株式*の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
 - AIテクノロジーの開発のほか、AIの開発に必要なコンピューティング技術、AIを活用したサービス、ソフトウェア・アプリケーションの提供を行う企業や、AIを活用したサービスを駆使して自社ビジネスを成長させる企業等に投資を行います。
 - AI（人工知能）とは、Artificial Intelligenceの略です。人間のように自ら学び発達していくコンピューター・プログラムをさします。* 上場株式には、不動産投資信託（REIT）も含まれます。
2. AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが実質的な運用を行います。
 - マザーファンドの運用にあたっては、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
3. 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジなし）と（為替ヘッジあり）の2つのファンドからご選択いただけます。
 - （為替ヘッジなし）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - （為替ヘッジあり）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
※一部の通貨については、他の通貨を用いた為替ヘッジを行う場合があります。直物為替先渡取引（NDF）を利用することもあります。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

投資リスク

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

（為替ヘッジなし）

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

（為替ヘッジあり）

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

【分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- （為替ヘッジあり）為替取引を行う場合、直物為替先渡取引（NDF）を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、当該取引において、取引の相手方の倒産等により取引が実行されないことが生じる可能性があります。
- （為替ヘッジあり）ファンドが活用する店頭デリバティブ取引（NDF）を行うために担保または証拠金として現金等の差入れがさらに必要とな

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

投資リスク

その他の留意点

る場合があります。その場合、ファンドは追加的に現金等を保有するため、ファンドが実質的な投資対象とする資産等の組入比率が低下することがあります。その結果として、高位に組み入れた場合に比べて期待される投資効果が得られず、運用成果が劣化する可能性があります。

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

（為替ヘッジなし）

無期限（2016年9月9日設定）

（為替ヘッジあり）

無期限（2017年2月10日設定）

決算日

毎年9月25日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

●課税上は株式投資信託として取り扱われます。

●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。

●当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

●ニューヨークの取引所の休業日

●ニューヨークの銀行の休業日

スイッチング

販売会社によっては、以下のファンドの間でスイッチングを取り扱う場合があります。

●グローバルAIファンド

●グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

●グローバルAIファンド（予想分配金提示型）

●グローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

※グローバルAIファンド（予想分配金提示型）およびグローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）については、当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.925%（税抜き1.75%）**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

委託会社・その他の関係法人等

| | |
|--------|---|
| 委託会社 | ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） |
| 受託会社 | ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社りそな銀行 |
| 販売会社 | ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。 |
| 投資顧問会社 | マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、投資信託財産の運用を行います。 ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー |

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

販売会社

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 資産一般社団法人 | 金融先物取引業協会 | 日本S T O協会 | 備考 |
|-------------------|---------------------------|---------|--------------------|----------|-----------|-----------|----|
| アイザワ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号 | ○ | ○ | ○ | | | |
| あかつき証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号 | ○ | | ○ | | | |
| 今村証券株式会社 | 金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号 | ○ | | ○ | | | |
| 岩井コスモ証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第15号 | ○ | | ○ | ○ | | |
| S M B C日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社S B I証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ※1 |
| 香川証券株式会社 | 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号 | ○ | | | | | |
| ぐんぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号 | ○ | | | | | ※2 |
| G M Oクリック証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号 | ○ | | | ○ | | |
| 静銀ティーエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号 | ○ | | | | | |
| 七十七証券株式会社 | 金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第37号 | ○ | | | | | ※3 |
| スターツ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号 | ○ | | ○ | | | |
| 大熊本証券株式会社 | 金融商品取引業者 九州財務局長（金商）第1号 | ○ | | | | | |
| 第四北越証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第128号 | ○ | | | | | |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 中銀証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第6号 | ○ | ○ | | | | |
| 東海東京証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 東洋証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号 | ○ | ○ | | | | |
| 内藤証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第24号 | ○ | ○ | | | | |
| 南都まほろば証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第25号 | ○ | | | | | |
| 西日本シティT T証券株式会社 | 金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号 | ○ | | | | | |
| 野村証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 八十二証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第21号 | ○ | | ○ | | | |
| 浜銀T T証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号 | ○ | | | | | |
| P W M日本証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号 | ○ | ○ | | | | ※2 |
| 百五証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号 | ○ | | | | | |
| ひろぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号 | ○ | | | | | |
| P a y P a y証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2883号 | ○ | | | | | ※2 |
| 北洋証券株式会社 | 金融商品取引業者 北海道財務局長（金商）第1号 | ○ | | | | | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | | ○ | | |

備考欄について

※1：「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」のみネット専用※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。※3：新規の募集はお取り扱いしておりません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年04月30日

販売会社

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 資産一般社団法人運用業協会 | 金融先物取引業協会 | 日本S T O 協会 | 備考 |
|------------------------|--------------------------|---------|--------------------|---------------|-----------|------------|-------|
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 三菱UFJ eスマート証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 水戸証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号 | ○ | | ○ | | | |
| むさし証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号 | ○ | ○ | | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| リテラ・クリア証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第199号 | ○ | | | | | |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第8号 | ○ | | | | | |
| 株式会社あいち銀行 | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第12号 | ○ | | | ○ | | ※4 |
| 株式会社足利銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第43号 | ○ | | | ○ | | |
| 株式会社イオン銀行（仲介） | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号 | ○ | | | | | ※5 |
| 株式会社SBI新生銀行（SBI証券仲介） | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号 | ○ | | | ○ | | ※6 ※7 |
| 株式会社SBI新生銀行（マネックス証券仲介） | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号 | ○ | | | ○ | | ※6 ※5 |
| 株式会社北九州銀行 | 登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第117号 | ○ | | | ○ | | |
| 株式会社紀陽銀行 | 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第8号 | ○ | | | | | |
| 株式会社群馬銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第46号 | ○ | | | ○ | | ※2 |
| 株式会社京葉銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第56号 | ○ | | | | | ※1 |
| 株式会社三十三銀行 | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第16号 | ○ | | | | | ※2 |
| 株式会社十六銀行 | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第7号 | ○ | | | ○ | | ※2 |
| ソニー銀行株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第578号 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ※2 |
| 株式会社大光銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第61号 | ○ | | | | | |
| 株式会社筑邦銀行 | 登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第5号 | ○ | | | | | ※2 |
| 株式会社中国銀行 | 登録金融機関 中国財務局長（登金）第2号 | ○ | | | ○ | | |
| 株式会社筑波銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第44号 | ○ | | | | | |
| 株式会社東京スター銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第579号 | ○ | | | ○ | | |
| 株式会社東北銀行 | 登録金融機関 東北財務局長（登金）第8号 | ○ | | | | | ※2 |
| 株式会社東和銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第60号 | ○ | | | | | ※2 |
| 株式会社トマト銀行 | 登録金融機関 中国財務局長（登金）第11号 | ○ | | | | | |
| 株式会社富山銀行 | 登録金融機関 北陸財務局長（登金）第1号 | ○ | | | | | |
| 株式会社富山第一銀行 | 登録金融機関 北陸財務局長（登金）第7号 | ○ | | | | | |
| 株式会社名古屋銀行 | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第19号 | ○ | | | | | ※2 |

備考欄について

※1：「グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）」のみネット専用※2：「グローバルA Iファンド」のみのお取扱いとなります。※4：「グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）」の新規の募集はお取り扱いしておりません。※5：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※6：ネット専用※7：委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

販売会社

| 販売会社名 | 登録金融機関 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 資産運用業協会 | 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 | 日本S T O協会 | 備考 |
|-----------------|--------|-----------------|---------|--------------------|---------|-----------|--------|-----------|-------|
| 株式会社南都銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第15号 | ○ | | | | | | |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第6号 | ○ | | | ○ | | | |
| 株式会社八十二長野銀行（仲介） | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第49号 | ○ | | | ○ | | | ※8 |
| 株式会社東日本銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第52号 | ○ | | | | | | |
| 株式会社百五銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第10号 | ○ | | | ○ | | | |
| 株式会社百十四銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長（登金）第5号 | ○ | | | ○ | | | |
| 株式会社広島銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第5号 | ○ | | | ○ | | | ※6 |
| 株式会社福岡中央銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第14号 | ○ | | | | | | ※2 |
| PayPay銀行株式会社 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第624号 | ○ | | | ○ | | | |
| 株式会社北洋銀行 | 登録金融機関 | 北海道財務局長（登金）第3号 | ○ | | | ○ | | | |
| 株式会社北洋銀行（仲介） | 登録金融機関 | 北海道財務局長（登金）第3号 | ○ | | | ○ | | | ※9 |
| 株式会社北陸銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第3号 | ○ | | | ○ | | | ※6 ※2 |
| 株式会社三井住友銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第54号 | ○ | ○ | | ○ | | | |
| 株式会社みなと銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第22号 | ○ | | | ○ | | | ※2 |
| 株式会社武蔵野銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第38号 | ○ | | | | | | |
| 株式会社もみじ銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第12号 | ○ | | | ○ | | | |
| 株式会社山形銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第12号 | ○ | | | | | | ※2 |
| 株式会社山口銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第6号 | ○ | | | ○ | | | |
| 株式会社S M B C信託銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第653号 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 朝日信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第143号 | ○ | | | | | | ※2 |
| 足立成和信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第144号 | | | | | | | ※2 |
| 遠州信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第28号 | | | | | | | ※2 |
| 青梅信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第148号 | ○ | | | | | | ※2 |
| 大垣西濃信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第29号 | | | | | | | ※2 |
| 大川信用金庫 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第19号 | | | | | | | ※2 |
| 大田原信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第219号 | | | | | | | ※2 |
| 大牟田柳川信用金庫 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第20号 | | | | | | | ※2 |
| 帯広信用金庫 | 登録金融機関 | 北海道財務局長（登金）第15号 | | | | | | | ※2 |
| 川崎信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第190号 | ○ | | | | | | ※2 |

備考欄について

※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。※6：ネット専用※8：委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社※9：委託金融商品取引業者 北洋証券株式会社

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

販売会社

| 販売会社名 | 登録金融機関 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融商品取引業協会 | 一般社団法人 資産運用業協会 | 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 日本STO協会 | 備考 |
|-----------|--------|-----------------|---------|---------------------|-------------------|-----------|-------------------|----|
| 北伊勢上野信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第34号 | | | | | | ※2 |
| 北群馬信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第233号 | | | | | | ※2 |
| 京都中央信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第53号 | ○ | | | | | ※2 |
| 京都北都信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第54号 | | | | | | ※2 |
| 呉信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第25号 | | | | | | ※2 |
| 桑名三重信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第37号 | | | | | | ※2 |
| 甲府信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第215号 | | | | | | ※2 |
| 佐賀信用金庫 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第25号 | | | | | | ※2 |
| さわやか信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第173号 | ○ | | | | | ※2 |
| しのもめ信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第232号 | | | | | | ※2 |
| 芝信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第158号 | | | | | | ※2 |
| 城北信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第147号 | ○ | | | | | ※2 |
| 白河信用金庫 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第36号 | | | | | | ※2 |
| 新庄信用金庫 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第37号 | | | | | | ※2 |
| 須賀川信用金庫 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第38号 | | | | | | ※2 |
| 静清信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第43号 | | | | | | ※2 |
| 瀬戸信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第46号 | ○ | | | | | ※2 |
| 大地みらい信用金庫 | 登録金融機関 | 北海道財務局長（登金）第26号 | | | | | | ※2 |
| 但馬信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第67号 | | | | | | ※2 |
| 玉島信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第30号 | | | | | | ※2 |
| 多摩信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第169号 | ○ | | | | | ※2 |
| 知多信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第48号 | | | | | | ※2 |
| 中南信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第195号 | | | | | | ※2 |
| 敦賀信用金庫 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第24号 | | | | | | ※2 |
| 東栄信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第172号 | | | | | | ※2 |
| 東濃信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第53号 | ○ | | | | | ※2 |
| 栃木信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第224号 | | | | | | ※2 |
| 鳥取信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第35号 | | | | | | ※2 |
| 豊川信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第54号 | | | | | | ※2 |
| 豊田信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第55号 | ○ | | | | | ※2 |
| 豊橋信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第56号 | | | | | | ※2 |

備考欄について

※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

販売会社

| 販売会社名 | 登録金融機関 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融商品取引業協会 | 一般社団法人 資産運用業協会 | 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 日本S T O協会 | 備考 |
|-----------|--------|-----------------|---------|---------------------|-------------------|-----------|---------------------|----|
| 奈良信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第71号 | ○ | | | | | ※2 |
| 新潟信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第249号 | | | | | | ※2 |
| 西尾信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第58号 | ○ | | | | | ※2 |
| 西中国信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第29号 | | | | | | ※2 |
| 沼津信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第59号 | | | | | | ※2 |
| 八幡信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第60号 | | | | | | ※2 |
| 浜松磐田信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第61号 | | | | | | ※2 |
| 半田信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第62号 | | | | | | ※2 |
| 飯能信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第203号 | | | | | | ※2 |
| 姫路信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第80号 | ○ | | | | | ※2 |
| 兵庫信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第81号 | ○ | | | | | ※2 |
| 平塚信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第196号 | | | | | | ※2 |
| 福井信用金庫 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第32号 | | | | | | ※2 |
| 福岡ひびき信用金庫 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第24号 | ○ | | | | | ※2 |
| 富士宮信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第65号 | | | | | | ※2 |
| 碧海信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第66号 | ○ | | | | | ※2 |
| 水島信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第48号 | | | | | | ※2 |
| 水戸信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第227号 | | | | | | ※2 |
| 大和信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第88号 | ○ | | | | | ※2 |
| 留萌信用金庫 | 登録金融機関 | 北海道財務局長（登金）第36号 | | | | | | ※2 |

備考欄について

※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年04月30日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

